

図書館使った授業（国語総合）学習指導案
新書と小説を比較する授業の試み

新潟江南高等学校 押木和子

- 1 履修単位数 1 単位
- 2 実施日時 平成24年7月4日（水）～12日（木）
- 3 学 級 1 年生全9クラス
- 4 使用教科書 第一学習社 『高等学校 新訂 国語総合現代文』
- 5 単元名 言語学習 情報検索の方法と実践
- 6 単元目標 高校1年生に新書に親しませる。小説以外の本について学ぶ。
- 7 単元設定の理由

【生徒観】新潟江南高等学校 1 年生
生徒は、やや子どもっぽい部分も残りふだんの授業中は賑やかだが、大変素直で真面目に学習活動に取り組む。小中学校時代に本に親しんできた生徒が比較的多く、図書館での授業を喜んでうけている。

【教材観】
4月に国語総合の授業の中で図書館オリエンテーションを行い、図書館の本の分類や位置、奥付について学んでいる。今回は、生徒に馴染みのある9類の小説の本と新書を比較しながら、新書に親しませ、夏休みの読書課題につなげて行く予定である。
小説の本は装丁に工夫のあるものや、人気のあるブックデザイナーによる装丁の本、映像化されてよく知られている作品を42タイトル選び、新書は「まえがき」があり、生徒になじみやすく、さまざまな分類から21タイトル（複本）を選んだ。

- 8 単元の目標 領域【読むこと】
- ・『本を読む本』（M.J.アドラー C.V.ドーレン 講談社学術文庫）の中の「点検読書」の手法を使って、小説の本と新書を比較する。
 - ・小説の場合は装丁と題名と全体の印象から、その本を自分が今読むべき本かどうかを判断し、新書の場合は「まえがき」を読んで、その本が誰を対象に書かれたどんな本かを読み取り、自分が読むべき本かどうかを判断する。

- 10 単元の評価規準
- A 自分の担当する本を熱心に観察し、点検読書を行っている。（意欲・関心・態度）
 - B 新書の「まえがき」を読んで、その本の内容や特徴、書き方の工夫などについて書いてある文章を抜き出せる。（読む能力）
 - C 新書のまえがきを読んでその本を読んでみたいかどうかを判断し、理由を書く。（読む能力・表現する能力）

1.1 指導計画

次	学 習 活 動	評価の規準と方法
導入 5分	・各自に新書と小説を一冊ずつ手渡し、ワークシートを配布して、今日の授業の目的とやり方を説明する。	評価規準A（観察）
展開1 10分	・担当した本の書名と著者名を記入し、新書と小説を以て下の点に沿って観察する。 ① 標題紙 ② まえがきの有無 ③ 目次の有無 ④ 本文 ⑤ あとがきの有無 ⑥ 参考文献の有無 ⑦ 索引の有無 ⑧ 奥付 ⑨ 著者紹介 ⑩ その他	評価規準A（観察）

展開2 10分	・担当した小説の装丁を観察し、題名のイメージと合っているかを判断する。	評価規準B
展開3 20分	・新書の「まえがき」からこの本の内容や特徴、書き方の工夫について書いてある文章を見つけて、ワークシートに抜き出す。 ・抜き出し例（解答例）を配布して、各自、適切に抜き出したかどうかを確認する。	評価基準B （ワークシート）
まとめ 10分	・「まえがき」を読んだ結果、この新書を読んでみようという気持ちになったかどうか、自分が読めるレベルの新書かどうかを判断し、点検してみる。 ・時間があったら、同じテーブルの生徒とワークシートを交換しあって相互評価する。	評価基準C （ワークシート）

・小説の本の名（名）

）著者名（名）

丁成

：①一般 ②的 ③紙に ④は ⑤「扉」 ⑥「表」 ⑦「紙」 ⑧「前」 ⑨「書」 ⑩「返」 ⑪「初」 ⑫「め」 ⑬「ツ」 ⑭「カ」 ⑮「バ」 ⑯「一」 ⑰「な」 ⑱「の」 ⑲「ワ」 ⑳「ヤ」 ㉑「全」 ㉒「は」 ㉓「ク」 ㉔「の」 ㉕「な」 ㉖「イ」 ㉗「ン」

① 一般 ② 的 ③ 紙に ④ は ⑤ 「扉」 ⑥ 「表」 ⑦ 「紙」 ⑧ 「前」 ⑨ 「書」 ⑩ 「返」 ⑪ 「初」 ⑫ 「め」 ⑬ 「ツ」 ⑭ 「カ」 ⑮ 「バ」 ⑯ 「一」 ⑰ 「な」 ⑱ 「の」 ⑲ 「ワ」 ⑳ 「ヤ」 ㉑ 「全」 ㉒ 「は」 ㉓ 「ク」 ㉔ 「の」 ㉕ 「な」 ㉖ 「イ」 ㉗ 「ン」

1. け 自分 分の本 手元の書に書き出しの小説など本と比較し、違う点をつけて、みよう。全体構成・題名の付

2. 小説の装丁は題名のイメージと合っていますか？あなたの印象を書こう。

・題名や装丁、本文の書出しの文章などから、この小説が読んでみたい本かどうかを判断し、その理由も書こう。

3. 新書「まえがき」は、はじめに（読者に何を伝えるたい前文）か「あとがき」か「おわりに」か（に、そのま）
（新文抜き出し、そのま）
（類似したよう表現が複数ある場合は、最適なものを選択し記入すること）

（ ページ 行目 ）

（ ページ 行目 ）

4. 自分の担当した新書の「まえがき」「あとがき」を読んで、読んでみたい本かどうかを判断しその理由も書こう。